

胎児ドックを始めました!



当院産科では、出生後に治療が必要となる疾患を妊娠中に予測し、小児科・小児外科医と情報を共有することで、出生後の速やかな対応を可能とするため、超音波指導医による通常の妊婦健診よりもより精度の高い胎児超音波スクリーニング検査を始めました。

なお、他院で妊婦健診をうけていらっしゃる妊婦さんも対象としておりますので、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

実施日	第2、4水曜日 14時から(要予約)	
料金 (自費)	当科通院中の方	2,600円
	他院から紹介の方	3,500円

問合せ先 産科・婦人科 TEL(0853)20-2389

公益財団法人 日本医療機能評価機構から認定証が交付されました

ひろせ まさひろ
病院医学教育センター長 廣瀬 昌博

本年7月11日付で、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価事業の認定証が交付されました。同機構は、医療の質の向上を目的として1997年から同事業を実施しており、当院も今回で3回目の認定となりました。今回の受審は、評価体系が3rdG:Ver.1.0に改定され、これまでの病院活動の具体的な項目による評価がなくなりました。このことから、適切な医療提供において病院独自の活動を展開することができる一方で、受審病院からはどのようにすればよいかわからないとの声も聞かれます。あたらしい評価体系3rdG:Ver.1.0により、全国的に受審病院が減少するなか、当院は島根県で初めて認定されました。これからも当院の理念である「地域医療と先進医療が調和する大学病院」を目指し、地域に貢献できるよう努力してまいります。

なお、受審に関するご相談、お問い合わせは下記までどうぞ。



問合せ先 病院医学教育センター TEL(0853)20-2076

お盆期間の休診日について

当院では平成19年度からお盆の8月13日から15日の3日間を休診日としてきましたが、本年度は8月15日(金)のみを休診日とすることとしましたのでお知らせします。

なお、平成27年度以降の休診日につきましては決定次第お知らせします。

8月

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 ₃₁	25	26	27	28	29	30



NEWS

CONTENTS

医療最前線

- ・重度の先天性心疾患根治手術実施
- ・専用の最新手術シミュレーションソフトの導入と実際の応用

胎児ドックを始めました!

日本医療機能評価機構から認定証が交付されました
お盆期間の休診日について





Access

外来 TEL 0853-20-2384
 医局 TEL 0853-20-2225
 FAX 0853-20-2222
 E-mail kyobuge@med.shimane-u.ac.jp

【小児心臓手術】

重度の先天性心疾患根治手術実施

心臓血管外科 講師 藤本 欣史
ふじもと よしふみ

～こどもたちの笑顔のために！～

6月、世界的にも極めて稀な、左上大静脈遺残を伴わない Unroofed Coronary Sinus (冠静脈還流異常) を合併した、総動脈幹遺残症を患った体重 2.4kg の新生児が計 5 回の手術を経て無事退院となりました。

3月上旬、当院へショック状態で生後 3 日の児が救急搬送され入院、本来全身と肺へ別々に血液を送るべき大動脈と肺動脈が、分かれずに一本になっている総動脈幹症と診断しました。本症例は、1 年生存率が 10% 以下という重度の先天性心疾患で、生後 6 日目に両側肺動脈絞扼術を施行し、32 日目には 11 時間余りをかけて肺動脈を繋ぎ直すなどの総動脈幹根治手術を行ないました。ところが術後の検査において、Unroofed Coronary Sinus が見付き、37 日目に修復手術を行ないました。

患児が頑張り、ご家族が支え、我々が手助けすることでみんなが笑顔になる瞬間を迎えることができ、小児医療に携わるものとして至福の時を迎えたのも記憶に新しい出来事です。

生まれながらに心臓に病気を持った、「先天性心疾患」の患者さんを手術対象とし、昨年 10 月の手術開始から本年 7 月までに 40 例以上の手術を終えました。この間、体重で 1.1kg ~ 50kg、年齢で日齢 1 ~ 28 歳まで、計 20 種近い様々な先天性心疾患と、幅広い領域で手術を行ってきました。上記の症例を含め、患児全員退院していただけたということは、「小児ハートチーム」として誇りに思っています。

両側肺動脈絞扼術

大量に肺へと流れる血液を、左右肺動脈を外から「締める」ことで制限する手術

総動脈幹根治手術 (Rastelli型手術)

- ①大動脈と肺動脈を切り離す
- ②切り離れた部分をパッチで閉鎖
- ③心室中隔欠損パッチ閉鎖
- ④心房中隔欠損閉鎖
- ⑤右室の出口と、切り離された肺動脈との接続
- ⑥左右肺動脈の絞扼解除

Unroofed Coronary Sinus 修復術

- ・右心房切開
- ・心房中隔を切開して左心房に到達
- ・直径 1mm のソフテ(消息子)を通して冠静脈洞の左心房開口部を同定
- ・長さ 5mm ほどのスリット状の開口部を直接閉鎖

Access

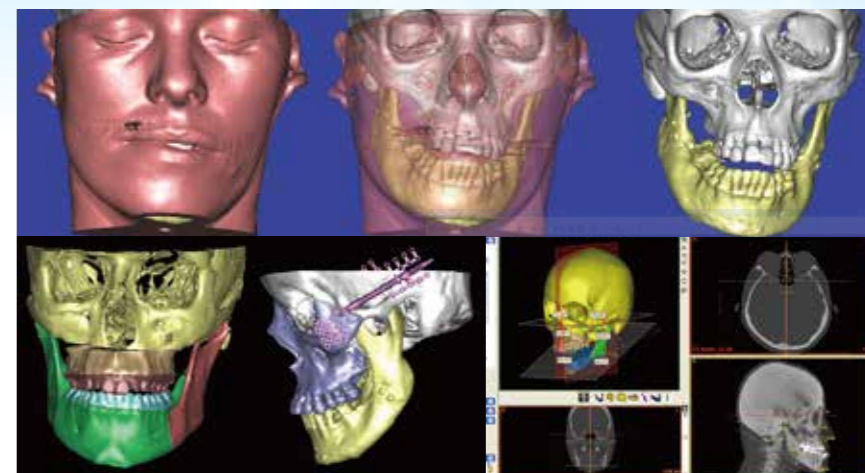
外来 TEL 0853-20-2394
 病棟 TEL 0853-20-2485 (B病棟4階)
 医局 TEL 0853-20-2301
 FAX 0853-20-2299
 E-mail mfs@med.shimane-u.ac.jp
 U R L http://www.med.shimane-u.ac.jp/oral/

【顎顔面骨手術】

専用の最新手術シミュレーションソフトの導入と実際の応用

歯科口腔外科 教授 関根 浄治
せきね じょうじ
 講師 菅野 貴浩
かんの たかひろ

当科では本年 4 月より、口腔顎顔面外科領域において、近年注目されトピックスとされる“先進デジタルテクノロジー”を応用したコンピューター支援下での患者さんの治療と手術に極めて有用な低侵襲顎顔面骨手術治療を顎顔面外科治療へ本格導入しました。



各種画像データから得られた CT ボリュームデータを用いて、それらを診断シミュレーションソフトを装備するコンピューターに取り込ませ、三次元的な解剖学的構造へ画像構成を行うことで、術前の詳細な診断と手術計画を三次元レベルで評価し、手術治療へフィードバックすることが可能となりました。特に当科で多く手掛ける口腔がん患者さんの顎顔面骨再建、顎変形症、顔面外傷治療、口唇口蓋裂等での有用性は非常に高く、すでに多くの患者さんの治療に役立てております。

特に当科へ導入されたコンピューターシミュレーションソフトは世界最新最先端のもの (SimPlant O&O, Materialise Co., Belgium) であり、解剖学のおよび機能的に極めて複雑な顎顔面領域における口腔外科手術において、その正確性と低侵襲性実現に極めて有用であります。

今後も当科一丸となり、他科とも連携して応用の幅を広げ、地域に高度な医療を提供してまいります。



6月17日 記者発表



子宮を温存する子宮頸癌手術を開始！

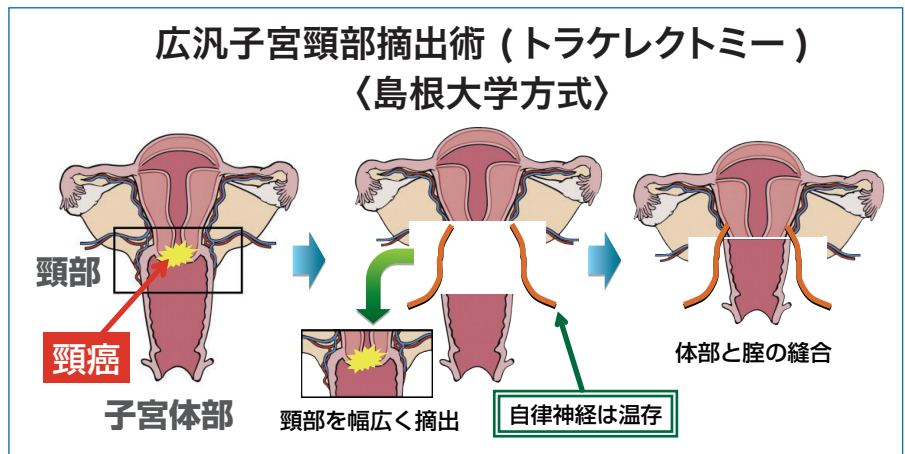
産科・婦人科 教授 ^{きょう さとる} 京 哲

増えている若年子宮頸癌

近年、若年の子宮頸癌の発症が急増しています。性交渉を通じたヒトパピローマウイルス(HPV)感染が発症の原因となり、特に悪性型HPVが感染すると、前癌病変である異形成から上皮内癌へと段階的に進行し、ついには転移能のある浸潤癌へと進展していきます。

子宮頸癌の子宮温存治療

妊娠可能な若年層の子宮頸癌が増えていることは、子宮頸癌に対する妊孕性温存手術の必要性がより一層高まっていることを意味します。上皮内癌までの前癌病変に対しては子宮頸部の病変のみを円錐状に切り取り、子宮頸部の大部分と子宮体部を温存する円錐切除術が広く行われてきました。一方、より悪性度の高い浸潤癌においては、円錐切除では切除範囲が不十分で、取り残しや再発が起こり、浸潤癌に対する根治手術にはなりません。浸潤癌に対しては、通常は子宮摘出(広汎子宮全摘術)が根治手術として行われ、患者さんは妊孕性を失うこととなります。子宮頸部に発生した頸癌を十分に切除しながら子宮を温存するために開発されたのが広汎子宮頸部摘出術(トラケクトミー)です。これは子宮頸部を完全に切除することで根治性を高めます。そして、頸部の切除により残った子宮体部と膣を繋ぎます(図)。これにより根治性を高めながら妊孕性を温存するのです。もちろん卵巣も残します。頸部の切除範囲の決定や、子宮機能維持のための重要血管の温存など、高度な技術を要するため、現在でもごく一部の大学病院など限られた施設でしか行われておりません。当院は島根県で唯一この術式を行う施設となっており、妊娠中の手術も可能です。



自律神経を温存する新術式の開発

通常の手術では切れてしまう自律神経膀胱枝のみならず、子宮の機能維持と妊娠成立に重要な役割を果たす自律神経子宮枝を温存する画期的な術式を開発しました。この自律神経子宮枝温存術は、現在世界で当院のみが施行可能な手術となっております。この手術を通じて、島根県の女性が子宮頸癌に罹患しても安心して子供を産めるようにしていきたいと考えております。子宮温存希望の子宮頸癌の患者さんがいらっしゃいましたらぜひご紹介下さい。

問合せ先 産科・婦人科 TEL : 0853-20-2389





島大病院ニュース
2014年08月

お知らせ

第3回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

清田雅智先生を招いて

参加費
無料

事前申し込みは
不要です。

島大総合医セミナーの第3回を開催致します。

前回に引き続き、飯塚病院総合診療科 清田雅智先生をお招きしてレクチャーと症例検討を行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

平成26年

8月23日(土)

17:00~20:00 (3時間)

於:ギャラクシー(みらい棟 4F)



みらい棟玄関

みらい棟玄関(立体駐車場側)からお入り下さい。
西門から入られると右手に駐車場があります。

1. レクチャー

『胸水と腹水~Richard Light と Bruce Runyon』

90分

2. 症例検討

90分

※8月23日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座【申請中】 **3** 単位 です。

8月24日(日) 9:00~12:00

・実地診療指導

前回同様に当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。要領は23日のセミナー時に説明します。

なお、本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」~リサーチマインドを持った総合診療医の養成~の一環として、継続的に開催いたします。

島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催: 島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

連絡先 (当番世話人): 呼吸器・化学療法内科 粟屋幸一(内線 2580)

お知らせ

島大病院ニュース

平成26年8月発行

編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会

問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援室

TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

